



「自己申告書」の書き方



大阪府の公立高校の入試では「自己申告書」の提出が必要です。「そう言われても何をどう書けばいいのかわからない」という人もいます。まずは何を書くのかを考えましょう。

1. 自己申告書のテーマ

令和4年度入試の「テーマ」は例年と同じテーマです。

【令和4年度のテーマ】
あなたは、中学校等の生活(あるいはこれまでの人生)でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。

【文字数】

具体的な文字数の制限はありませんが、適切な大きさで文字を書くと大体 1000 文字程度になります。原稿用紙だと3枚が目安です。大きな文字で書くと文字数が少なく済みそうですが、中身が薄くマイナスの評価になってしまうので避けましょう。

【用紙の使い方】

自己申告書はレポート用紙のような形式です。原稿用紙ほど厳しいルールはありませんが、最低限のルールは守って下さい。

- ① 段落の書き始めは1文字分あける。
- ② 行の始めに閉じかっこ(」)や句読点(、や。)が来るときは前の行の最後に入れる。
- ③ 一行の文字数は決まっていないが、書き始めと終わりで文字の大きさが変わり過ぎないように気をつける。(バランスが大事)

2. アドミッションポリシーを確認しよう

各高等学校から発表されているアドミッションポリシーを読みましょう。高等学校が提出された自己申告書を見るときは、必ずアドミッションポリシーに合っているかを見ます。アドミッションポリシーとは、学校が求める生徒像、期待する生徒の姿を示したものであり、受験生にとって、志望校を決定する大きな判断材料の一つになるとともに、受験生が出願時に自己申告書を作成する際に参照するものです。

3. 自己申告書は合否の判断材料となる(参考)大阪府公立高等学校入学者選抜制度改善方針より

高等学校においては、総合点(学力検査の成績等+調査書中の評定)等とともに、このアドミッションポリシーに基づいて、受験生の合否を判定することとなります。

- ①一般選抜(通信制の課程を除く)及び実技検査を実施する特別選抜

ボーダーゾーン内の生徒のうち、自己申告書及び調査書の「活動/行動の記録」の記載内容により、自校のアドミッションポリシー(求める生徒像)に極めて合致する者を総合点の順位に関わらず優先的に合格とする。

- ②面接を実施する特別選抜
選抜の第一手順として(…中略…)面接、自己申告書及び調査書の「活動/行動の記録」の記載事項を資料として、自校のアドミッションポリシー(求める生徒像)に最も適合する者から順に、募集人員の50%を上限として合格とする。

4. 大阪府立松原高等学校の場合

本校は地域に根差した学校として、信頼を大切に、社会とつながり未来を見つける学力=「優しいチカラ」を育むとともに、自立支援生や障がいのある生徒だけでなく、あらゆる生徒がお互いを支え合うインクルーシブな学校をめざしています。また、総合学科の多様な選択授業や学校内外での体験的学習や多くの人との出会いを通して、自分を見つめ、自分を変えていこう、そして社会に貢献していこうという意欲のある生徒を歓迎します。

- 1) お互いの違いを認め合い、仲間づくりや人権を大切に作る取組に意欲・関心のある生徒
- 2) 総合学科である本校の国際理解や地域福祉といった特色ある選択科目に関心があり、体験的な学習や研究・発表活動にチャレンジしたい生徒
- 3) 障がいへの理解を深め、仲間とともに学び、ともに生きたいという意欲のある生徒
- 4) 部活動や生徒会活動、ボランティア活動に意欲のある生徒

5. まずは箇条書き、あとから清書

文章を作る上でのコツは、しっかりと準備に時間をかけることです。文章を書き出せない人は特に準備に時間をかけるようにしてください。まずは、中学生の3年間に頑張ったことや出来るようになったこと、続けたことを書けるだけ書いてみましょう。10個ぐらいを目安に出せるだけ出してみましょう。

次に、高校やその先で頑張りたいこと、経験したいことを同じくたくさん書いてください。アドミッションポリシーに気をつけて関連づけるようにすると、とても書きやすくなります。

6. 過去、現在、未来の自分について書く

たくさん書き出せたら、あとは材料を組み立てる作業です。説得力のある文章にするには過去、現在、未来の自分について書くことを意識してください。

【過去-現在】は自分が中学の間に頑張ったことや出来るようになったこと、続けたことです。

【未来】は高校やその先で頑張りたいこと、経験したいことです。

みんなに自慢するものではありません。人と比べず、周りをもっといいことを書いているかも考える必要はありません。箇条書きで書き出した内容を、さらに一つ一つ詳しく説明を足していきましょう。1つあたり100文字から150文字くらいが理想です。もちろん、嘘はダメです。

7. まとめ

「自分の3年間をまとめる、振り返る」ということは、何かきっかけがなければ、なかなかできません。受験生にとってこの一年間は大変な年ですが、高校生活をより良くするためのきっかけにもなります。これまでをしっかりふりかえり、これからどうしたいのかを考えて、少し先の目標を立てていきましょう。